

# 今、何の病気が流行しているか！

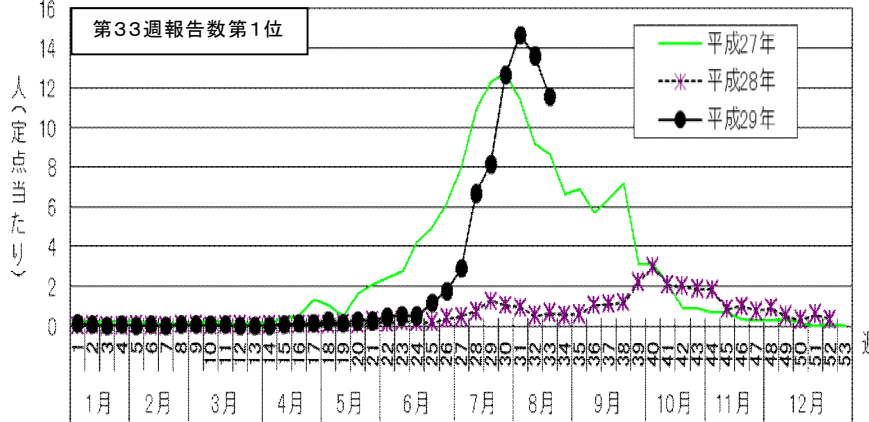
## 【感染症発生動向調査事業から】

平成29年8月14日（月）～平成29年8月20日（日）〔平成29年第33週〕の感染症発生状況

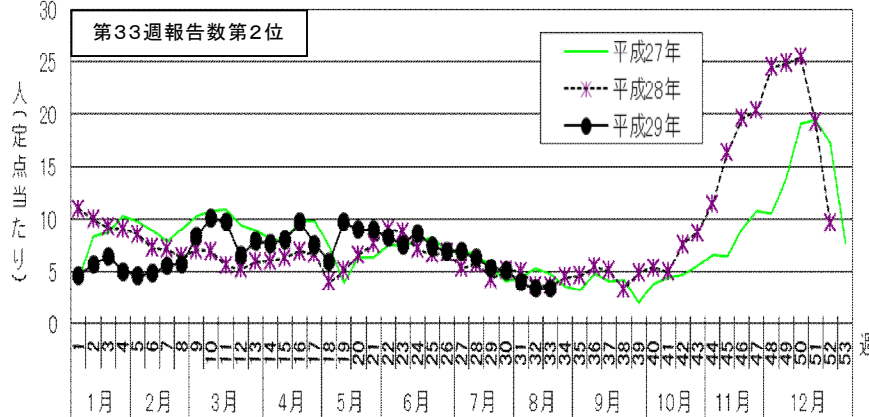
第33週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は11.55人と前週（13.58人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.41人と前週（3.39人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は3.38人と前週（3.44人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



手足口病発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



## 帰国後の体調不良に注意しましょう！

夏休みを海外で過ごされた方も多いかと思いますが、感染症には、潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、渡航中あるいは帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなることがあります。体調不良がみられた時は早めに医療機関を受診し、症状だけでなく旅行先や旅行期間も必ず医師に伝えてください。

現在、イタリアやルーマニアを含むヨーロッパ地域で麻疹（はしか）の大規模な流行が発生しています。流行地から帰国後2週間程度は高熱や全身の発疹等の症状に注意し、受診の際は事前に医療機関へ連絡しましょう。

### 麻疹（はしか）とは？

【感染経路】  
 空気感染、飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】  
 7～18日（最長21日程度）

【症状】  
 風邪様症状で始まり、38℃程度の発熱が2～3日続いた後やや下降し、再び39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。

【予防方法】  
 ワクチン接種

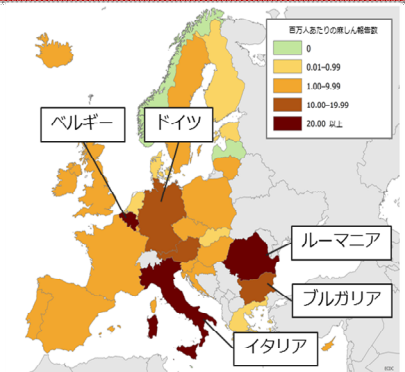


麻疹報告数上位10の国々  
 (平成29年1月～平成29年6月)

国名	報告数
インド	38596
ナイジェリア	6802
中国	4347
イタリア	3660
パキスタン	3029
バングラディシュ	2913
インドネシア	2242
コンゴ民主共和国	2082
ルーマニア	1844
タイ	1352

出典：WHO(世界保健機関)麻疹報告数  
(平成28年8月現在；一部改定)

ヨーロッパ地域における麻疹の流行状況  
 (平成28年6月～平成29年5月)



出典：ECDC(欧州疾病対策センター)麻疹報告率  
(平成29年5月現在；一部改定)

厚生労働省「麻疹りフリーット（帰国後の注意事項）」から引用